

令和6年度上半期

会津美里町水道事業 業務状況報告書

令和6年度上半期（令和6年4月1日～令和6年9月30日）の会津美里町水道事業の業務状況は次のとおりです。

1. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出（消費税込み）

当期の営業収益は 181,448,363 円、営業外収益は 27,289,955 円（長期前受金戻入 21,746,500 円を含む）で、合計 208,738,318 円となり、収入の主軸である給水収益は、予算額 405,772,000 円に対し調定額 181,448,363 円で 44.7%の執行率となりました。

当期の営業費用は 176,010,960 円（減価償却費 81,771,500 円を含む）、営業外費用は 4,903,940 円で、合計 180,914,900 円となりました。

(2) 資本的収入及び支出（消費税込み）

当期の資本的収入は 8,000,000 円で、資本的支出は 62,376,509 円となりました。

収入の内訳は、一般会計補助金 8,000,000 円です。

支出の内訳は、建設改良費 28,499,414 円、企業債償還金 33,877,095 円です。

(3) 予算執行状況（消費税込み）

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：円）

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業収益	460,230,000	208,738,318	251,491,682
第1項 営業収益	405,772,000	181,448,363	224,323,637
第2項 営業外収益	54,457,000	27,289,955	27,167,045
第3項 特別利益	1,000	0	1,000

支出

（単位：円）

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業費用	454,473,000	180,914,900	273,558,100
第1項 営業費用	431,639,000	176,010,960	255,628,040
第2項 営業外費用	19,574,000	4,903,940	14,670,060
第3項 特別損失	260,000	0	260,000
第4項 予備費	3,000,000	0	3,000,000

イ 資本的收入及び支出

収入

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本的收入	113,485,000	8,000,000	105,485,000
第1項 企業債	80,200,000	0	80,200,000
第2項 出資金	10,070,000	0	10,070,000
第3項 補助金	16,000,000	8,000,000	8,000,000
第4項 工事負担金	7,215,000	0	7,215,000

支出

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本の支出	235,267,000	62,376,509	118,309,471
第1項 建設改良費	167,595,000	28,499,414	84,514,566
第2項 企業債償還金	67,672,000	33,877,095	33,794,905

2. 令和5年度決算

本町の水道事業は、安全で安心な水を供給するために、施設の維持管理と老朽管更新事業等の建設改良を行い、安定給水の確保に努めました。

老朽管更新事業は、既設石綿セメント管の老朽化、経年劣化による漏水等の事故により水道水の安定供給に支障となるため、管路整備の一環として平成30年度に計画を策定、令和元年度から工事に着手しており、現在は全体更新計画延長約25kmのうち、累計更新延長は約4.57kmであり、進捗率は18.3%となりました。

また、将来にわたり安定的な水道供給を継続するためには、他の水道事業体との広域的な連携が必要である。その中で、馬越浄水場を起点とした用水供給・受水事業体による広域連携を進めており、令和5年度は4事業体による人工衛星を活用した漏水調査を共同発注し事業を実施しました。この取組は、水道事業の広域連携「会津圏域モデル」として、令和5年10月に開催された日本水道協会全国会議「水道研究発表会」で成果発表を行いました。

水道事業の現状は、高度成長期に整備された老朽化した施設の更新や災害に強い施設整備といった将来に受け継ぐ取組が必要不可欠であり、これらの事業を実施するためには多額の財源を確保する必要があります。

令和5年度の決算の概要は以下のとおりです。

(1) 給水の状況

令和5年度末における給水戸数は6,022戸であり、前年度と比較し267戸減少し、給水人口は15,921人で、前年度と比較し628人の減少となりました。

年間総配水量は2,062,389 m^3 と、前年度と比較して12,925 m^3 減少した。有収水量は1,459,240 m^3 で、前年度と比較して36,529 m^3 減少し、有収率は70.75%と前年度と比較し1.32ポイント低下しました。有収率が低下した要因としては、漏水による影響が考えられ、漏水修繕件数は給水管72件、配水管16件（うち大規模漏水が3件）及びメーター等が51件あり、前年度の1.3倍増加したことに起因すると思われま

す。また、令和5年度は夏季の気温が高かったこともあり、管末の塩素濃度低下が著しくこれに対応するため、管末で排泥対応を長期間行ったことで、無収水としての配水量が増加したことによることも有収率が低下した要因と思われま

す。今後も有収率の向上を図るためには、引き続き漏水調査及び老朽管の更新を着実に進める必要があります。

(2) 経営の収支状況

保有する現金預金は、前年度末から15,212,897円減少し、令和5年度決算時において498,067,190円となりました。このうち安全性及び流動性を考慮し、定期預金に

250,000,000 円を預入し、資金の運用に努めました。

水道料金については、感染症対策生活応援事業として基本料金を半額とする減免措置が終了し令和 5 年度の給水収益は 33,177,280 円増加して 371,578,500 となりました。収納状況は、納付管理を徹底し、かつ給水停止処分を実施し、現年分で 84.8%（前年比 1.8 ポイント増）、過年度分は過去最高の 98.8%（前年比 0.7 ポイント減）、全体額では 86.7%（前年比 1.2 ポイント増）の収納率を確保しました。

収益的収支（消費税抜き）は、収入総額が 438,926,634 円となり、前年度と比較して 2,451,404 円（0.6%）増加し支出総額は 389,961,810 円となり、前年度と比較して 6,806,708 円（1.7%）増加しました。

前年度より収入及び支出が増加したが、本年度の純利益は前年度と比較して、4,355,304 円減少し、48,964,824 円となりました。

純利益が減少した主な要因は、収入は、給水人口減少や節水型機器の普及等による給水収益が減少傾向にあるなか、支出での原油価格高騰に伴う動力費の増及び給配水管の漏水等による修繕費の増など営業費用が増加したことが大きな要因として挙げられます。

令和6年度上半期 会津美里町水道事業損益計算書

(令和6年4月1日から令和6年9月30日まで)

(単位：円)

1 営業収益

(1) 給水収益	161,080,330	
(2) その他の営業収益	3,937,500	165,017,830

2 営業費用

(1) 原水及び浄水費	50,463,817	
(2) 配水及び給水費	25,131,295	
(3) 総係費	10,533,068	
(4) 減価償却費	81,771,186	
(5) 資産減耗費	0	
(6) その他営業費用	10,860	167,910,226

営業損失

2,892,396

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	43,905	
(2) 他会計補助金	5,460,000	
(3) 長期前受金戻入	21,746,500	
(4) 雑収益	38,577	
(5) 引当金戻入益	0	27,288,982

4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	4,903,940	
(2) 雑支出	0	4,903,940

経常利益

19,492,646

5 特 別 利 益

(1) 固定資産売却益	0	
(2) 過年度損益修正益	0	0
	<hr/>	

6 特 別 損 失

(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	0		
(3) その他特別損失	0	0	0
	<hr/>	<hr/>	<hr/>

当期純利益	19,492,646
前年度繰越利益剰余金	362,257,600
その他未処分利益剰余金変動額	0
当期未処分利益剰余金	<hr/> <hr/> 381,750,246

令和6年度上半期 会津美里町水道事業貸借対照表

(令和6年9月30日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ	土地		35,169,957	
ロ	建物	795,954,596		
	減価償却累計額	△ 381,191,949	414,762,647	
ハ	構築物	6,865,850,530		
	減価償却累計額	△ 4,037,440,983	2,828,409,547	
ニ	機械及び装置	669,330,089		
	減価償却累計額	△ 494,664,794	174,665,295	
ホ	車両運搬具	3,200,313		
	減価償却累計額	△ 1,771,662	1,428,651	
ヘ	工具、器具及び備品	4,214,584		
	減価償却累計額	△ 3,345,578	869,006	
ト	建設仮勘定		45,827,043	
	有形固定資産合計			<u>3,501,132,146</u>

固定資産合計

3,501,132,146

2 流動資産

(1)	現金預金		596,890,345	
(2)	未収金		36,675,887	
	貸倒引当金		△ 240,000	
(3)	貯蔵品		5,257,433	
(4)	前払金		5,954,800	
(5)	その他流動資産		9,886,891	

流動資産合計

654,425,356

資産合計

4,155,557,502

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に
充てるための企業債

597,189,463

ロ その他の企業債

0

企業債合計

597,189,463

固定負債合計

597,189,463

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に
充てるための企業債

33,793,989

ロ その他の企業債

0

企業債合計

33,793,989

(2) 未払金

0

(3) その他未払金

0

(4) 引当金

イ 賞与引当金

0

ロ 法定福利費引当金

0

引当金合計

0

(5) 預り金

28,095,676

(6) その他流動負債

16,431,506

流動負債合計

78,321,171

5 繰延収益

(1) 長期前受金

2,318,512,210

(2) 収益化累計額

△ 1,361,080,343

繰延収益合計

957,431,867

負債合計

1,632,942,501

資本の部

6 資 本 金		2,138,347,051
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	740,720	
ロ 国 庫 補 助 金	1,776,984	
資 本 剰 余 金 合 計		2,517,704
(2) 利 益 剰 余 金		
イ 減 債 積 立 金	0	
ロ 利 益 積 立 金	0	
ハ 建 設 改 良 積 立 金	0	
二 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金	381,750,246	
利 益 剰 余 金 合 計		381,750,246
剰 余 金 合 計		384,267,950
資 本 合 計		2,522,615,001
負 債 資 本 合 計		4,155,557,502